

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路補助災害復旧事業			
予算科目	11 款 2 項 1 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 一方井 浩介	
実施期間	【開始年度】 平成 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	公共土木施設災害(補助災害対象分)			
事業の必要性	市道・河川・水路等の公共土木施設の被災箇所の機能回復を行う。(補助災害対象分)。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	伊予市全域	
運営方法	【運営方法】	【運営費(予定)】		
事業の目的	異常な天然現象により生じた公共土木施設災害で施設が被災した箇所を原則、原形復旧として機能回復を行う。(補助災害対象分)			
事業の内容				0
改善策の 具体的 取り組み (当初)	関係機関・関係者と協議し、早期に着手し復旧を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算	
事業費	直接事業費	0	5,276	0	1,995
	人件費	0	795	0	795
	合計	0	6,071	0	2,790
人件費 内訳	人工数	0.00	0.10	0.00	0.10
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	795	0	795
財源内訳	国庫支出金	0	3,400	0	1,320
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	1,700	0	600
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	971	0	870

実施スケジュール							
項目	25年度以前	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
補助災害件数(件)		1	1				
年度別事業費		1,995	3,220				
財 源	国・県支出金		1,320	2,080			
	地方債			1,000			
	その他						
	一般財源		675	140			
国・県支出金等名称	公共土木施設災害復旧事業費負担金						

成果指標					
成果指標					0
指標設定の考え方	突発的事象であるため指標設定は行わない。				
区分年度	25年度	26年度	27年度		
目標	0	-	-	0	
実績	-	-	-	-	

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	災害発生から応急対応の迅速化を図るため、各地域事務所、愛媛県、関係機関との連絡を密に行い二次災害発生を抑制するよう努める。また事業実施においてはコスト縮減、工期短縮を視野に入れた計画策定を行い、効率的な事業進捗に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	愛媛県管理の県道災害と同一被災であり、愛媛県と連携してコスト削減、安全対策、通行止め解除を迅速に対応ができた。今後も災害が発生しても災害査定前に応急対策工事を施し、安全を確保した上で利用者の利便性向上を早く対応していきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	